

平成30年度病害虫発生予察注意報第9号

平成31年3月4日
愛知 県

作物名：タマネギ

病害虫名：タマネギべと病

- 1 予想発生地域 県内全域
- 2 予想発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 2月下旬の巡回調査（18 ほ場）の結果、タマネギべと病（図）の発病株率が 0.17%（平年 0.11%、前年 0.00%）、発生ほ場率が 11.1%（平年 4.0%、前年 0.0%）で、過去10年間と比較して発病株率、発生ほ場率ともに過去3番目に高い。
- (2) 2月19日と28日に20mm以上の降雨があり、また名古屋地方気象台2月28日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多い見込みであることから、本病の発生に好適な条件である。



図 葉上のべと病菌の菌糸と分生子（白いほこりのように見える）

4 防除対策

- (1) 発病株は周辺株だけでなく、周辺ほ場への伝染源になるので、見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (2) 表を参考に予防的な防除に努める。また、発生を確認した場合は、ただちに薬剤で防除する。降雨後は速やかに薬剤防除を行う。
- (3) 薬剤感受性の低下を避けるため、作用機構が同じ薬剤の連用を控え、異なる FRAC コードの薬剤をローテーションして使用する。

表 タマネギべと病に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	成分名	FRAC コード
ダコニール 1000 (注1)	収穫7日前まで	TPN	M5
ジマンダイセン水和剤 (注2)	収穫3日前まで	マンゼブ	M3
ザンプロ DM フロアブル (注3)	収穫7日前まで	アメトクトラジン ジメトモルフ	45 40
シグナム WDG	収穫7日前まで	ピラクロストロビン ボスカリド	11 7
ジャストフィットフロアブル (注4)	収穫7日前まで	フルオピコリド ベンチアバリカルブイソプロピル	43 40
フェスティバル C 水和剤 (注3)	収穫7日前まで	ジメトモルフ 銅	40 M1
プロポーズ顆粒水和剤/ ワイドヒッター顆粒水和剤 (注1) (注4)	収穫7日前まで	ベンチアバリカルブイソプロピル TPN	40 M5
ベトファイター顆粒水和剤 (注4)	収穫7日前まで	シモキサニル ベンチアバリカルブイソプロピル	27 40
ランマンフロアブル	収穫7日前まで	シアゾファミド	21
リドミルゴールド MZ (注2)	収穫7日前まで	マンゼブ メタラキシル(M)	M3 4
レーバスフロアブル	収穫前日まで	マンジプロパミド	40

FRAC コードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRAC コードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code_pdf01.pdf を参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

注1 ダコニール1000、プロポーズ顆粒水和剤/ワイドヒッター顆粒水和剤に含まれる成分TPNの総使用回数は、6回以内なので注意する。

注2 ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールドMZに含まれる成分マンゼブの総使用回数は、5回以内なので注意する。

注3 ザンプロDMフロアブル、フェスティバルC水和剤に含まれる成分ジメトモルフの総使用回数は3回以内なので注意する。

注4 ジャストフィットフロアブル、プロポーズ顆粒水和剤/ワイドヒッター顆粒水和剤、ベトファイター顆粒水和剤に含まれる成分ベンチアバリカルブイソプロピルの総使用回数は3回以内なので注意する。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471